2019 年 6 月 11 日
日 本 銀 行 福 島 支 店

Bank of Japan Fukushima Branch

# 福 島 県 金 融 経 済 概 況
## (2019 年 5 月分※)

【概　況】

県内景気は、一部に弱い動きがみられるものの、総じてみれば緩やかに回復している。

最終需要の動向をみると、公共投資は、震災からの復興へ向けた取り組みが続く下で高水準にあるものの、基調としては減少している。住宅投資も、減少している。個人消費は、緩やかに持ち直している。設備投資は、高水準で推移している。

鉱工業生産は、中国向けの産業用機械や電子部品関連の一部に減産の動きがみられるものの、総じてみれば高水準を維持している。

雇用・所得環境は、強い人員不足感が続く中、緩やかに改善している。

先行きについては、一部では弱い動きが続くものの、総じてみれば緩やかな回復が続き、当面、震災前に比べて高水準の経済活動が維持されるとみられる。もっとも、復興需要のピークアウトに加え、米中貿易摩擦や世界的な情報関連財の調整の影響による県内経済への下押しには注意していく必要がある。

※　直近までに入手可能な金融経済統計およびヒアリング情報をもとに、県内の金融経済動向を取り纏め。

【前回からの基調の変化】

| 総括 | 個人消費 | 住宅投資 | 設備投資 | 公共投資 | 生産 | 雇用・所得 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| → | → | → | → | → | → | → |

（注）
↑ :前回から改善度合いが強まっている、もしくは悪化度合いが弱まっている。
→ :前回から変化なし。
↓ :前回から改善度合いが弱まっている、もしくは悪化度合いが強まっている。

【本件に関する問い合わせ先】
日本銀行 福島支店 総務課
TEL:024-521-6353
本資料は、ホームページ（http://www3.boj.or.jp/fukushima/）にも掲載しています。

## １．需要項目別の動向

### 【個人消費】

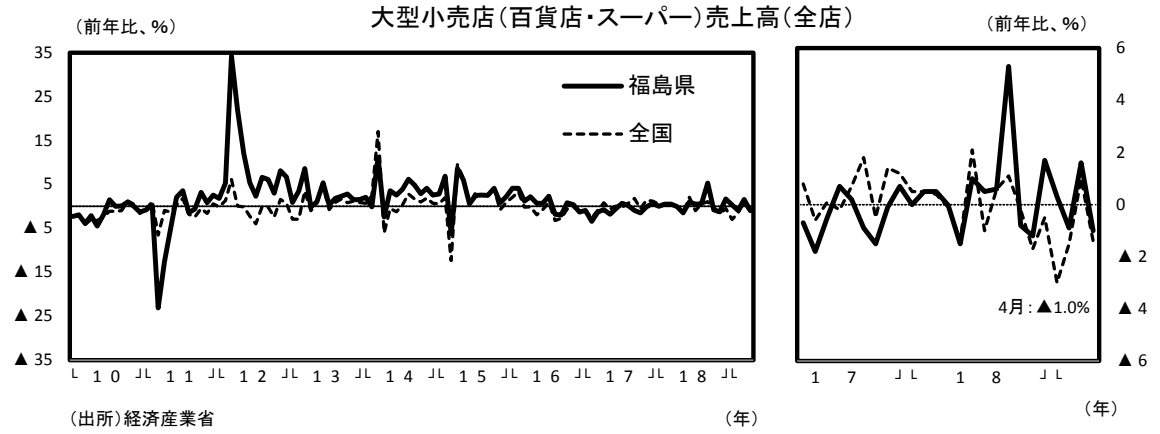
**個人消費は、緩やかに持ち直している。**

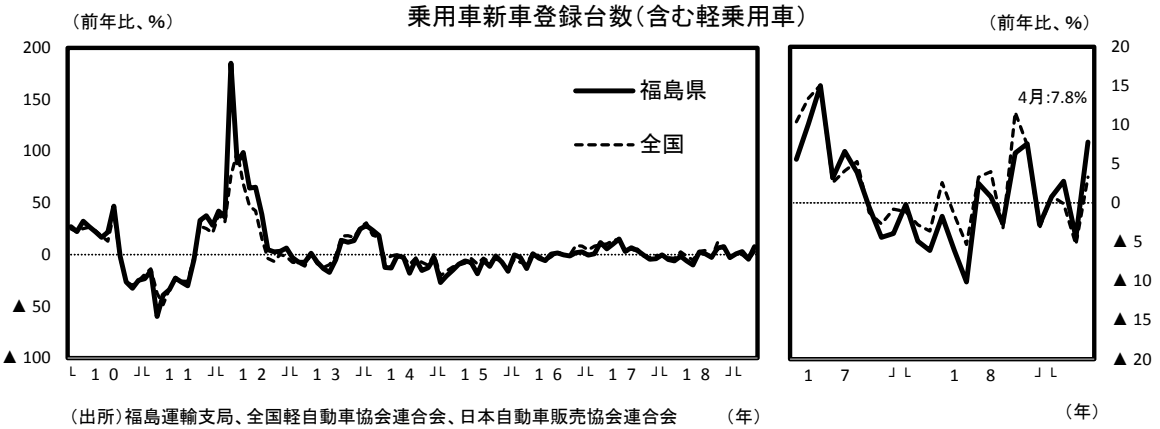
主要小売業販売額は、持ち直しの動きが続いている。内訳をみると、百貨店は、前年を下回って推移している。スーパー、コンビニエンスストア、ドラッグストアは、新規出店効果に加え、大型連休中の行楽関連商品需要もみられたことなどから、増加している。ホームセンターは、足もとは弱めの動きとなっている。

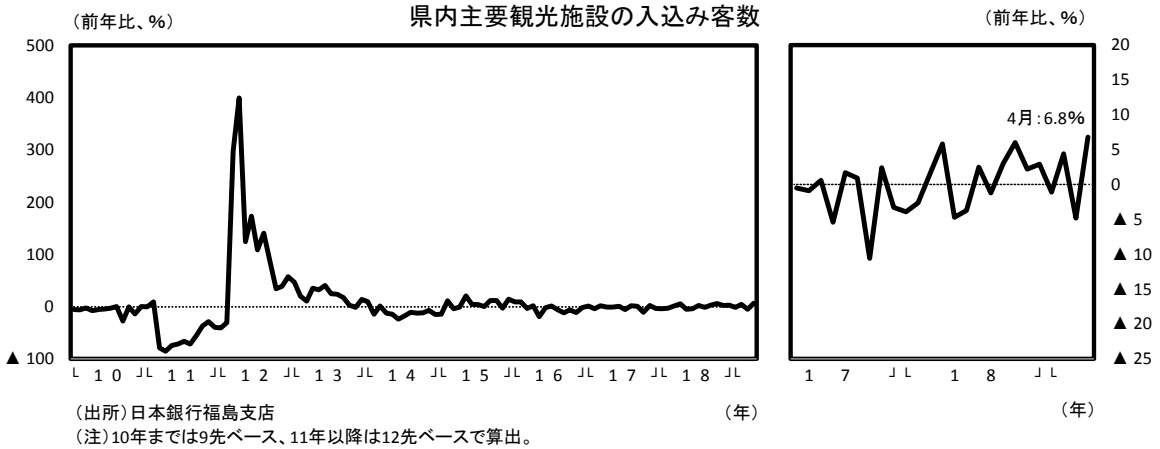
乗用車新車登録台数は、新型車投入効果により持ち直している。

家電大型専門店販売額は、総じてみれば底堅く推移している。

県内主要観光施設や宿泊施設への入込み（4 月）は、大型連休があったことから前年を上回った。



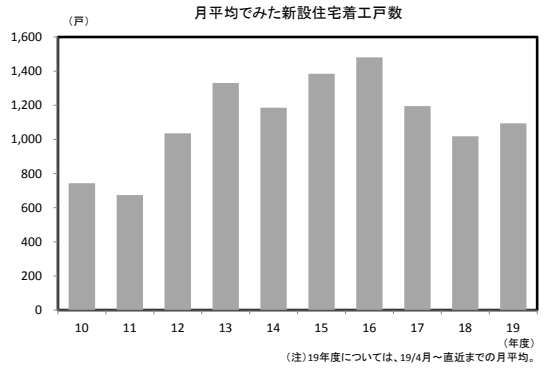



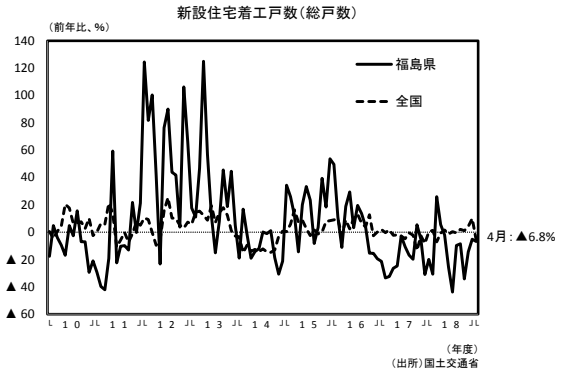
## 【住宅投資】

**住宅投資は、減少している。**

新設住宅着工戸数は、分譲が前年を上回ったものの、持家、貸家が前年を下回ったため、全体でも前年を下回った。




（注）19年度については、19/4月～直近までの月平均。



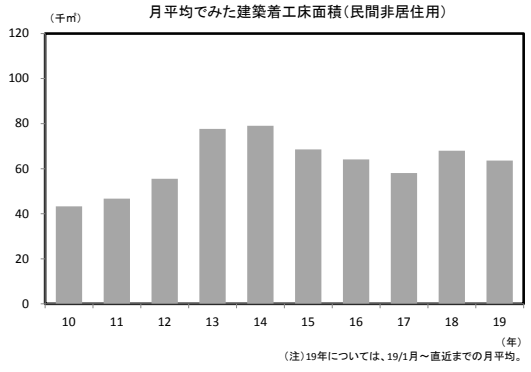

（出所）国土交通省

## 【設備投資】

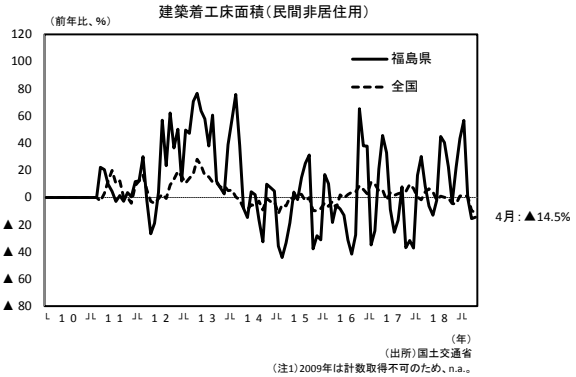
**設備投資は、高水準で推移している。**

3月短観における県内企業の設備投資計画をみると、2018年度は省力化投資や能増投資などから、前年度を約2割上回る計画となっている。2019年度は前年度並みの高水準の計画となっている。

建築着工床面積（民間非居住用）は、足もとは前年を幾分下回る動きとなっている。




（注）19年については、19/1月～直近までの月平均。

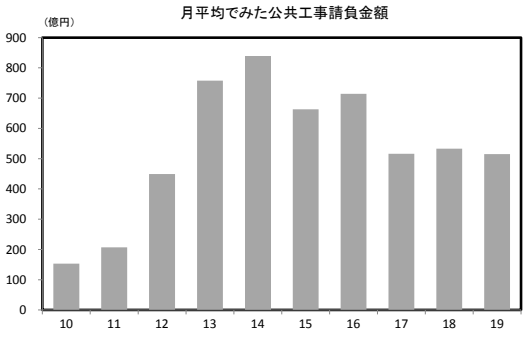



（出所）国土交通省
（注1）2009年は計数取得不可のため、n.a.。
（注2）3か月後方移動平均。

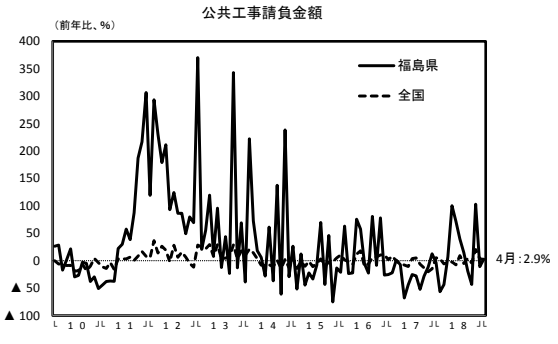
【公共投資】

**公共投資は、震災からの復興へ向けた取り組みが続く下で高水準にあるものの、基調としては減少している。**

公共工事請負金額は、前年を上回った。この間、資材価格は、震災前に比べて高い水準で横ばい状態にある。



（注）19年度については、19/4月～直近までの月平均。

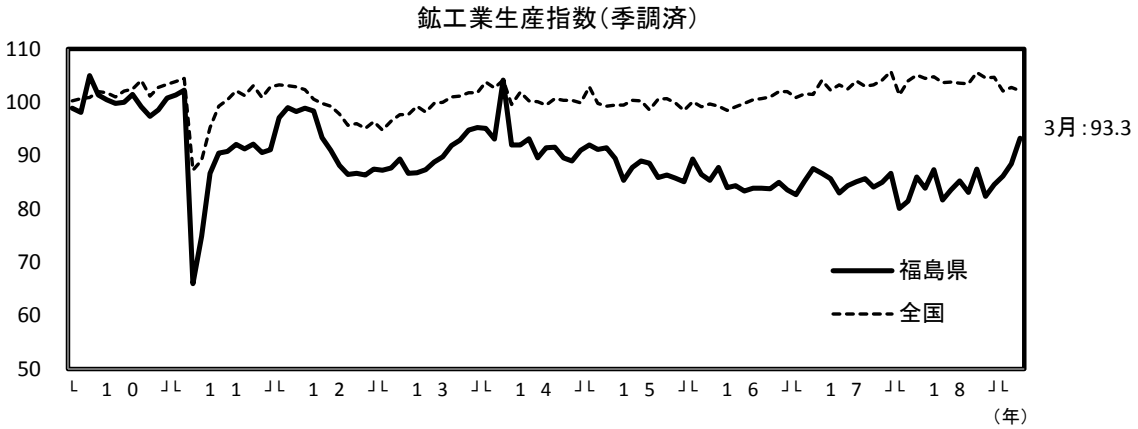


（出所）東日本建設業保証㈱ほか

## ２．生産動向

**鉱工業生産は、中国向けの産業用機械や電子部品関連の一部に減産の動きがみられるものの、総じてみれば高水準を維持している。**

鉱工業生産指数（3月）を業種別にみると、情報通信機械、はん用・生産用・業務用機械、電子部品・デバイスは上昇した一方、化学、輸送機械は低下した。

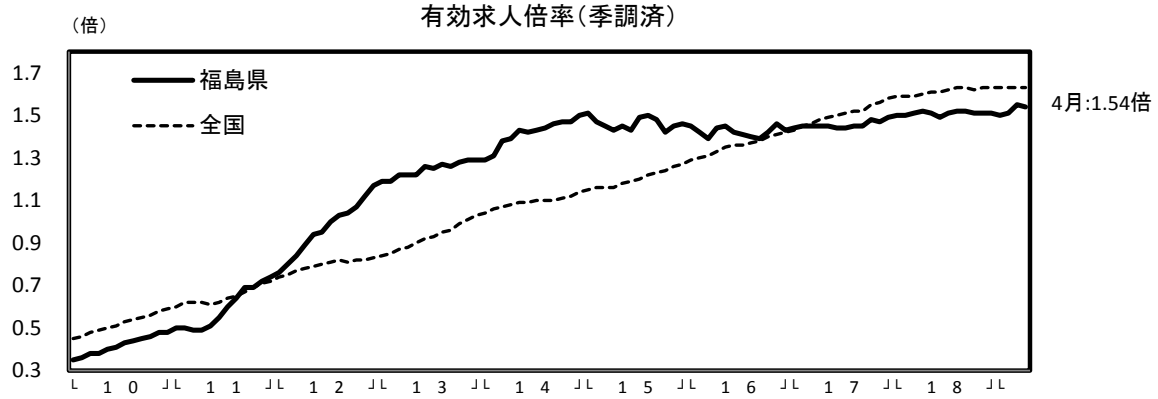


（出所）福島県、経済産業省
（注）福島県分は2010年基準、全国分は2015年基準。

## ３．雇用・所得

**雇用・所得環境は、強い人員不足感が続く中、緩やかに改善している。**

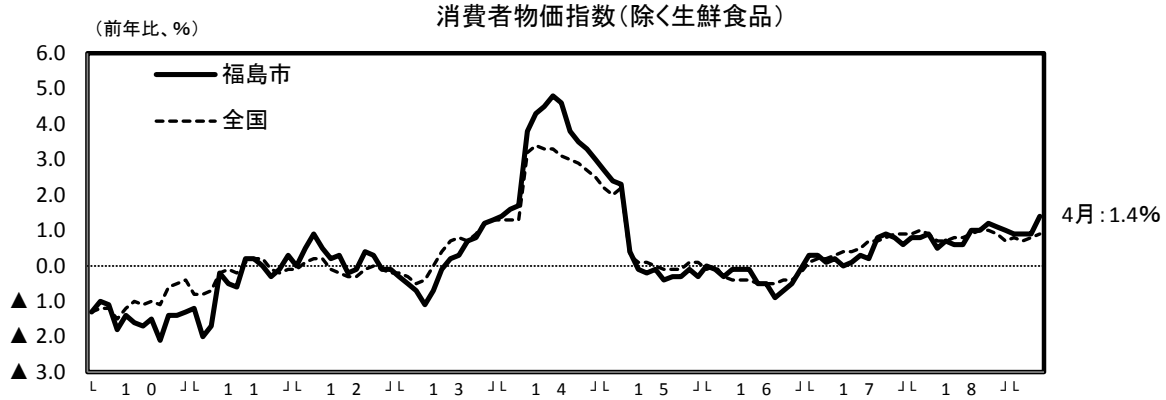
有効求人倍率は、高水準で推移している。常用労働者数は前年を上回って推移しており、雇用者所得は、緩やかに改善している。




（出所）福島労働局、厚生労働省

## ４．物価

消費者物価指数（除く生鮮食品）は、前年を上回って推移している。




（出所）総務省

（注）2010年までは2005年基準。2011年～2015年は2010年基準。2016年以降は2015年基準。

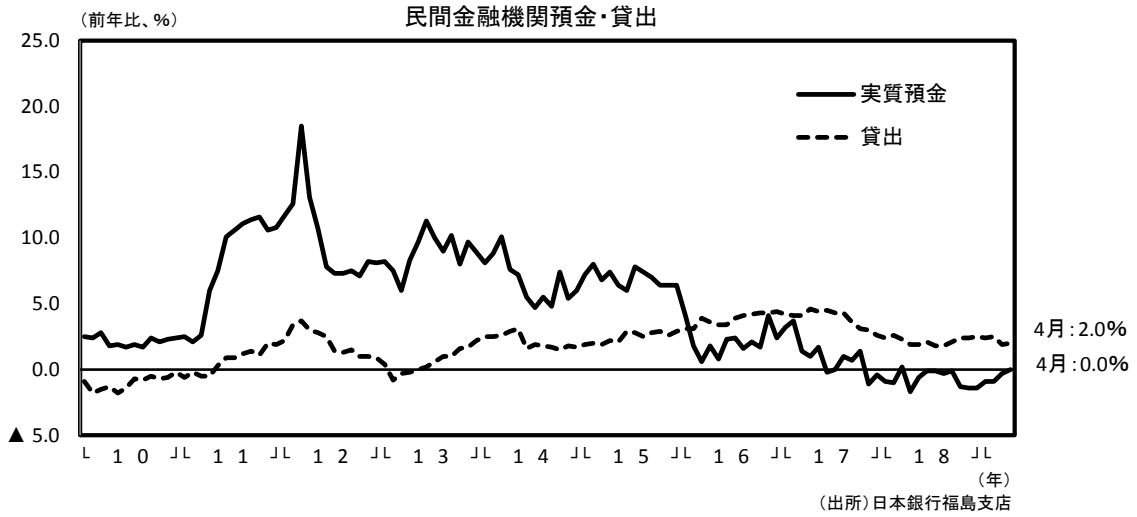
## ５．金融情勢

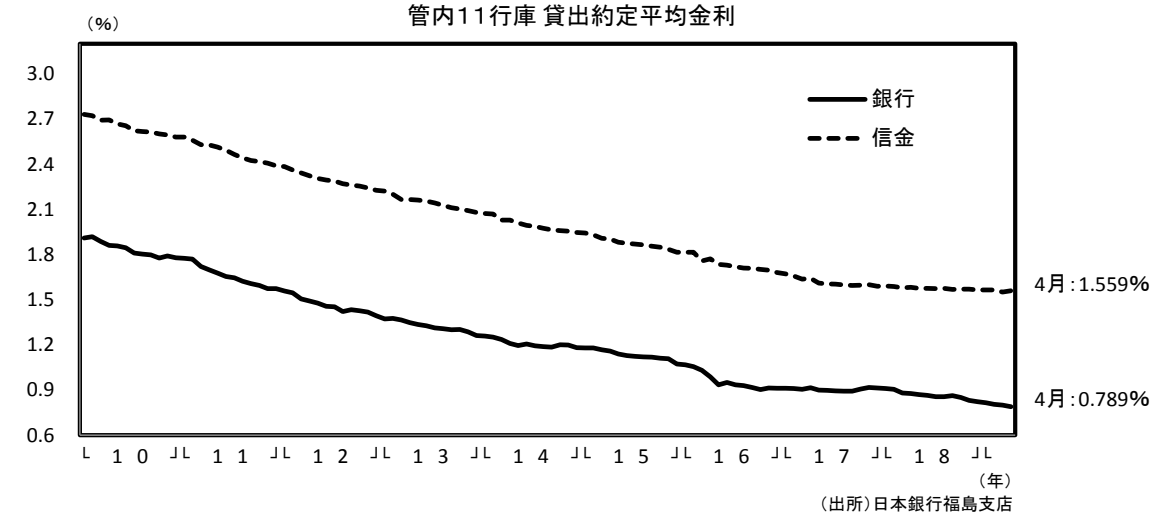
実質預金は、公金預金が前年を下回ったものの、一般預金（個人・法人預金）が前年を上回ったことから、全体では前年並みとなった。

貸出は、緩やかな増加を続けている。

貸出約定平均金利は、下げ止まりつつある。

企業倒産は、低水準ながら、このところ幾分増加してきている。




以　上